

来週の「売り物」記事はこれ



2012年3月9日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

パワハラの実態と定義 くらしナビA面 16日(金)

厚生労働省の作業部会は1月、職場のパワーハラスメント（パワハラ）の定義を初めて打ち出しました。上司からのいじめだけでなく、同僚や部下からの嫌がらせもパワハラにあたるとしています。こうした定義の背景を探り、職場のパワハラの実態取材しました。



福島の春の料理 くらしナビB面 13日(火)



東京・麻布の日本料理店「分（わけ）とく山」の総料理長、野崎洋光さん＝写真＝が、故郷である福島の春の料理を紹介してくれました。桃の節句に合わせた「雛（ひな）ずし」や啓蟄（けいちつ）の頃に食べる「よもぎまんじゅう」。福島の豊かな食を味わっててください。

着こなしレッスン・レースを楽しむ

くらしナビB面 15日(木)

春を感じる季節。ファッション界の春夏シーズンは今年、レースが注目です。レースはフォーマルな印象が強いですが、最近は日常的に着られるさまざまアイテムが充実しているとか。スタイリストの田内玲子さんに今時風のレースの着こなしを教えてください。



新たな社会問題「サイバーセックス」 12、13日夕刊で連載



世界で最も児童売春の被害が多い国の一つフィリピンで、インターネット時代を反映し、パソコンのテレビ電話機能を使った「サイバーセックス」が新たな社会問題としてクローズアップされています。実際のセックスはないものの、裸体をさらすことに抵抗感が希薄になり、本当の売春に向かうからです。実情を12、13両日の夕刊で連載します。

サッカーやラグビーに分かれて普及、発展しているフットボール。その起源は、英国中部ダービー州のアッシュボーンで12世紀に始まったモブ（暴徒）フットボールとされています。町を流れる川の北側と南側の二手に分かれてボールを奪い合い、お互いの陣地の奥深くにある「石」にボールを3回打ち付けると「ゴール」となり、得点を争います。フットボールの原点であり、現在も行われているモブフットボールを特集ページ「月刊ロンドン五輪」（13日朝刊）で紹介します。



韓流ブーム 10年！

ルポ 聖地「新大久保」を駐日韓国大使と歩く

12日（月）掲載

02年の日韓ワールドカップ、03年の「冬ソナ」大ヒットを契機に始まった韓流ブーム。今もテレビで韓流スターを見ない日はなく、韓流ドラマが世の女性たちの紅涙をしばらせています。女性たちだけではなく、スレンダーでキュートなアイドルグループは日本男児の心をわしづかみしています。そんなとどまるどころを知らない韓流ブームを反映して、東京のコリアンタウン、新大久保は連日のようにディズニーランド並の大混雑になっています。まさに、韓流ファンの聖地巡礼！なぜ、日本人は韓流が好きなのか。そこに浮かぶ日韓関係の今とは——。申珥秀（シン・ガクス）＝写真＝と一緒に、新大久保を歩いて日韓の今と明日を考えました。



「知りたいが分かる」がモットーの毎日新聞夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。